

「学校教育目標」と「令和2年度重点目標」に向けて

◎ 自主自律の精神を重んじ、知・徳・体にわたる「生きる力」を育成する。

自ら学び・・・生涯にわたって学び続けようとする姿勢

自ら創り・・・知識や情報の中から知恵を絞り新たなものを生み出す探究心

自ら拓く・・・人生を切り拓く強い意志

①自主自律精神と豊かな心の育成 ②将来の夢や希望を実現するキャリア教育の推進

③他者との協働による特別活動の実践 ④働き方改革とコンプライアンスの徹底

豊かな人間性

- ①み(みだしなみ)・そ(掃除)・あ(挨拶)・じ(時間を守る)を自ら進んで行える礼儀正しい誠実な生徒の育成
- ②「道徳」の指導を工夫し、他人を思いやる豊かな心の育成

健康・体力

- ①学校行事、部活動への積極的参加
- ②ホームルーム活動を充実させ達成感を味わわせる

資質・能力の育成

何ができるようになるか

○学校教育の基本

- ①基本的な生活習慣やマナーを身に付けることができる
- ②自宅での学習習慣を身に付けることができる
- ③自ら学び、自ら考え、表現することができる

何が身に付いたか

○学習評価を通じた学習指導の改善

- ①礼儀正しい誠実な態度が身に付いている
- ②進路実現に向けて、自宅での学習にも取り組むことができる
- ③基礎的・基本的な資質・能力を身に付け、学習内容をことばや文字で表現することができる

子どもの実態

- ①自ら考える姿勢や学ぶ意欲が低い
- ②目的意識を持ち、自主的・自発的に取り組む生徒が少ない

子どもの発達をどのように支援するか

○配慮を必要とする子どもへの指導

- ①個に応じた支援の充実・スクールカウンセラーの活用
- ②生徒指導部・各年次・各担任・各教科担任間での情報共有
- ③家庭・地域社会・関係機関との連携

目指す子どもの姿

- ①自ら考え、自ら学ぼうとすることができる
- ②自己指導力を身に付け、様々なことに自主的・自発的に取り組むことができる

何を学ぶか

○教育課程の編成

- ①教育活動全体を通して、「聴く・考える・表現する」活動の実践
- ②保護者と連携し自宅学習の習慣化を図る

どのように学ぶか

○教育課程の実施

- ①「主体的で対話的な深い学び」の実践
- ②探究活動の充実
- ③自宅学習ノートの作成・提出・評価

実施するために何が必要か

○指導体制の充実、家庭・地域との連携・協働

- ①教務部・進路指導部・各年次・各教科と連携し指導体制の確立を図る
- ②家庭・地域社会・関係機関との情報共有
- ③生徒面談、家庭訪問の実施

安心・安全を守る

- ①学習環境の修繕・整備（学校周辺の環境含む）
- ②地元警察署・消防署との連携
- ③安全教育・防災教育・人権教育の充実

開かれた学校づくり

- ①地域との連携（渉外部活動・PTA活動の充実）
- ②学校ホームページ、中学校説明会の活用
- ③授業公開、発表会実施（外部に向けた行事の充実）